名鉄グループエリア　魅力発見マガジン

Wind

MEITETSU

Take Free | 11 2026

TOYOKAWA-INARI

豊川稲荷御開帳



想いが息づく、
地域の彩り探訪。

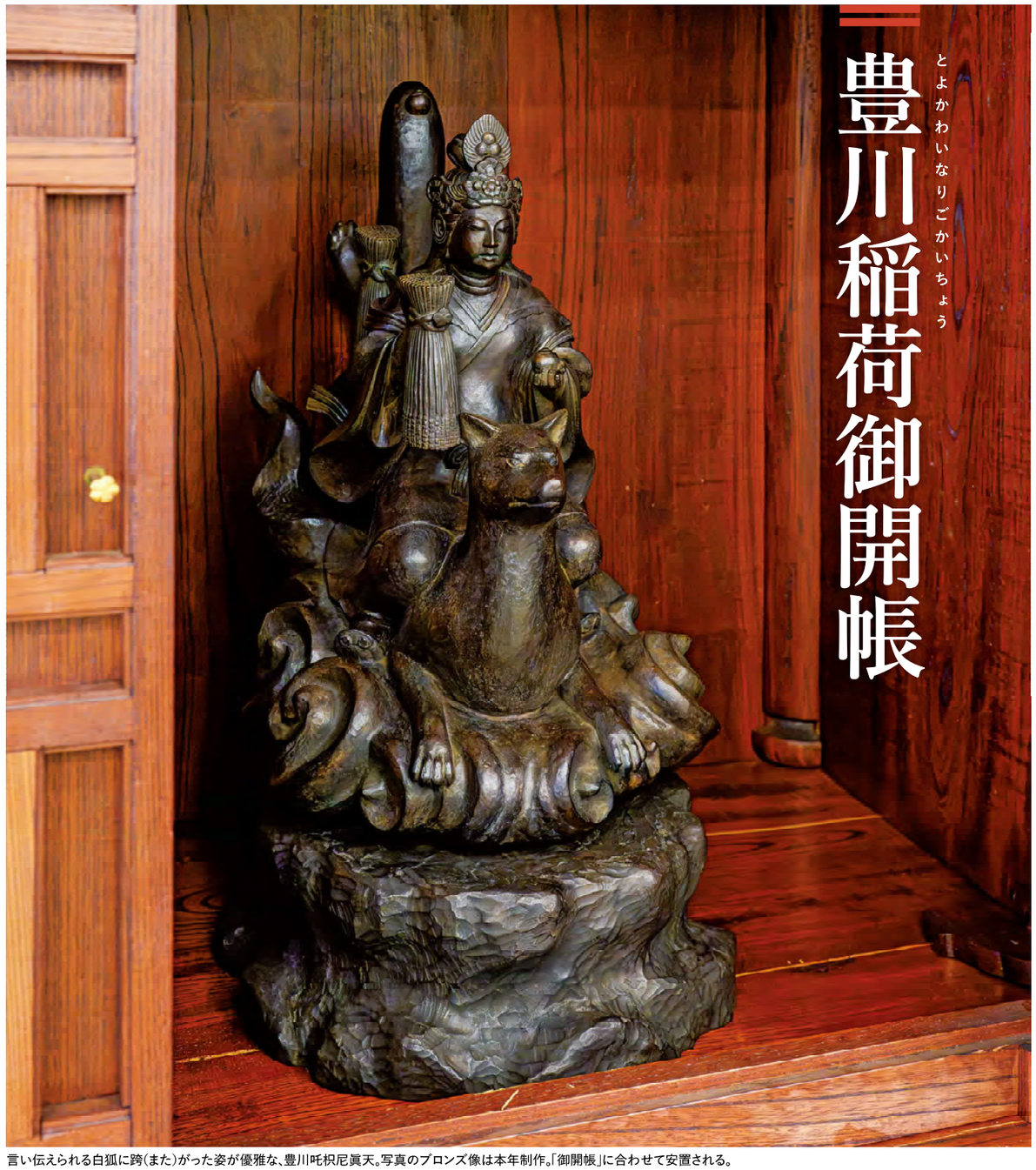
Precious Stories

72年ぶりに開く、秘められた祈りの扉。

寺でありながら鳥居を構え、独自の信仰の歴史を持つ豊川稲荷は、
五穀豊穣、商売繁盛の祈願が途切れることのない愛知の名刹。
その中心に鎮座する秘仏・豊川吒枳尼眞天の御前立尊像が「御開帳」を迎える。
「時代を超えて、縁を繋ぐ」をコンセプトに掲げた特別な節目に、
豊川稲荷が受け継いできた祈りや想いに触れる旅に出かけてみよう。

豊川稲荷御開帳

とよかわいなりごかいちょう



言い伝えられる白狐に跨(また)がった姿が優雅な、豊川吒枳尼眞天。写真のブロンズ像は本年制作。「御開帳」に合わせて安置される。

585年も受け継がれてきた、神仏が息づく豊川稲荷の歴史。



豊川吒枳尼眞天を祀る本殿。柱には真言が刻まれ、参拝時に21回唱えることが正式とされる。



小さな腕が千本、大きな腕が38本ある千手観世音菩薩像。「千」は無限の慈悲を表す数字だそう。

愛知県には神社仏閣が多く、7800以上もあり全国一を誇る。なかでも、商売繁盛のご利益で知られ、年間約500万人もの参拝者が全国から訪れるのが豊川稲荷。一般的に「稲荷」と聞くと神社を思い浮かべる人も多いが、豊川稲荷は正式名称を「豊川閣妙厳寺」と称する曹洞宗の寺院。寺でありながら、鳥居や狐像もある、仏教と神道が融合した信仰形式が大きな特色だ。

その背景にあるのが、豊川吒枳尼眞天への信仰であり、歴史は嘉吉元年(1441年)の妙厳寺創建から、さらに約200年前にさかのぼる。寺伝には、曹洞宗の開祖で道元禅師の弟子・寒巌義尹が、宋(中国)から帰国する際、稲穂と宝珠を持つ吒枳尼眞天が白狐に跨がり、真言を唱えながら現れたと残る。寒巌義尹はこれに感激し、その姿を彫刻して祀ったと伝わり、六代目の弟子・東海義易が、豊川の地で妙厳寺を開いた際に〝鎮守〟として迎えたのだそう。

戦国時代には、今川義元が寺を保護し、その後も、徳川家康ら三英傑が信仰したことで、その名は全国へ。三河の領地を治めた大岡越前守忠相は信仰が篤く、西大平藩陣屋内への大岡稲荷建立が発端となり、後に豊川稲荷東京別院創設につながったとされる。

見どころ満載の境内。



本殿へ続く参道には、神社で見るような大きな鳥居が。上部側面には「卍」が刻まれ、寺院であることを表している。



山門は天文5年(1536年)に戦国大名・今川義元が寄進。この寺が信仰の拠点であったことを今に伝える。

3万坪以上の広大な境内には90以上もの堂塔伽藍が点在し、それぞれに異なるご利益も伝わる。樹齢千年以上の欅一枚板による扉が見事な「総門」や、真言を唱えながら撫でることで福を授かるとされる「おさすり大黒天」、大小千体ほどの狐像が納められた「霊狐塚」など、見どころは多い。

参拝の中心となる本殿には豊川吒枳尼眞天の御前立尊像を祀り、〝御本尊〟である千手観世音菩薩は、令和6年(2024年)に新築した法堂に鎮座する。法堂の建て替えの際に、あらたな千手観世音菩薩(写真上)を迎え、これまで〝御本尊〟として信仰を集めてきた像は、胎内仏として新御本尊の中に納められた。

「法堂の完成は、寺として大きな時代転換の時ですので、尊天さま(豊川吒枳尼眞天)に報告をします」と話すのは、35世住職を務める福山憲隆さん。普段は厨子の扉の奥に納められて拝観できない秘仏・御前立尊像を、この節目に合わせ、11月の一定期間に限り公開するのが「豊川稲荷御開帳」だ。前回の「御開帳」から、実に72年ぶりの開催となり、境内ではさまざまなイベントも計画されている。



霊狐塚にぎっしりと並ぶ狐像は、祈願成就の御礼として奉納されたもの。1体ごとに異なる表情も興味深い。



豊川稲荷(豊川閣 妙厳寺)
35世住職

福山憲隆

Fukuyama Kenryu

昭和52年(1977年)、静岡県菊川市生まれ。愛知学院大学在学中に僧侶の道を志す。曹洞宗大本山・永平寺での修行を経て、平成17年(2005年)から妙厳寺の役寮を務め、令和3年(2021年)に住職に就任。曹洞宗の教えの根幹は「今を生きる」ことにあるとし、座禅を教えの要と捉える。世界的な視野を養うため、海外の寺院や教会にも足をのばしている。



豊田市稲武で養蚕を続ける古橋家が袈裟に使う絹糸を、皇室などへの奉納も手掛ける京都・山口美術織物が織りを担当。



古銭を納めた「福銭(500円)」や「午年御開帳記念切り絵御朱印(1,000円)」などの授与品も。きつねみくじは各300円。



最祥殿の襖に描かれた、西元祐貴作「豊川新鳥獣戯画『甲巻』」は、国宝である鳥獣擬人戯画の精神と現代の感覚を融合。垂れた墨など、制作の痕跡も味わい深い見どころのひとつ。拝観料大人500円。

豊川稲荷御開帳　11月1日(日)～11月23日(月・祝)

御開帳・境内イベント

西元祐貴美術館 墨絵ミュージアム
23日(月・祝)まで

ヨルモウデ(境内ライトアップ)
庭園・通天廊ライトアップ
ヨルモウデナイトミュージアム
西元祐貴美術館
1日(日)～3日(火・祝)、23日(月・祝)までの金・土・日、祝

豊川稲荷御開帳大祭
21日(土)・22日(日)





秀吉の念持仏と伝わる不動明王立像や、国指定重要文化財の地蔵菩薩立像も安置。明治時代には、有栖川宮家より「豊川閣」の大額が下賜されている。

豊川稲荷(豊川閣 妙厳寺)

豊川市豊川町1　☎0533-85-2030(代表)
お札・お守りの授与 8:00～15:50　境内参拝無料、
諸堂拝観500円、「御開帳」祈祷料5,000円～ほか
※「御開帳」の行事・イベント等についてはWebサイトで確認
豊川線豊川稲荷駅下車 徒歩約7分

時代に合わせた取り組みとともに、安らぎを感じられる場所として。

「御開帳」を機に、これまでにない挑戦も始まっている。墨絵師・西元祐貴氏による襖絵プロジェクトもそのひとつ。躍動感あふれる襖絵は段階的に公開され、境内の最祥殿にて鑑賞できる。秋の大祭で福山住職が身に纏う袈裟(写真左上)にも、西元氏の筆が入り、職人の技が一着に結実。「白と黒のみで表現された作品は、意味を押し付けることなく、向き合う者の心に応答します。寺院もまた同じです」と、住職は表情を引き締める。

「御開帳」は境内だけにとどまらず、門前にある豊川商店街での関連イベントをはじめ、地域が一体となって盛り上げていく。その先にあるのは、令和12年(2030年)の、本殿建立100周年に営まれる「大開帳」で、この節目には千手観世音菩薩の胎内仏も公開される予定だ。

「先々代の33世様が80歳を過ぎた頃、『今日こうしてお勤めができるのは、尊天さまを一生懸命拝んできたおかげかな』と、おっしゃったことがありました。その姿を見習って、お勤めしています」と、穏やかな笑みを浮かべた福山住職。一人ひとりが心にゆとりを取り戻し、豊川稲荷が、安らぎを感じられる場所であり続けたいと願う住職の想いは、「御開帳」の先にある未来へと受け継がれていく。



夜間に光と音で演出された境内を参拝する「ヨルモウデ」。「御開帳」期間中の特定日に開催される。



境内の奥にひっそりとたたずむ奥の院。旧本殿の拝殿を移築した建物で、軒下などに見られる昇り龍は、諏訪の宮大工の名跡・立川和四郎の仕事と伝わる。



72年越しに参拝者の前へ姿を現す豊川吒枳尼眞天の御前立尊像。最高級の香木・白檀(びゃくだん)で作られている。

時を超えて、秘仏と人がつながる。昭和29年(1954年)以来となる「御開帳」の全貌。

750年以上も前に寒巌義尹が彫刻したとされる吒枳尼眞天像は、旧本殿の拝殿を移築した奥の院に安置されている。この像は住職であっても目にすることはなく、今後も公開されることはないという。一方で、本殿内の奥にある厨子の中には、参拝者が拝めるよう、吒枳尼眞天像の御身代わりとなる御前立尊像(写真左)を祀り、毎朝、奥の院から霊力をこの像に移す儀式を行う。日中は御前立尊像に霊力が宿っているとされ、夕刻には、霊力を奥の院に戻す儀式も営まれる。今まで本殿で閉ざされてきた、この秘仏・御前立尊像が、この度、姿を現す。長い歴史の中で、「御開帳」が行われたのは、福山住職が知る限り10回にも満たない程度。今回の「御開帳」では、御祈祷を受けた参拝者が、御前立尊像に拝礼できるのだそう。

また、すべての参拝者に向け、豊川吒枳尼眞天のブロンズ像(P1)を初公開するという。「本殿の中は薄暗いため、厨子の中の姿をはっきりと拝観できるとも限りません。尊天さまの姿を皆さまにお伝えするため、ブロンズ像を間近にご覧いただけるようにします」と福山住職。この像は千葉県の仏師が制作したもので、細部にわたり緻密に表現されている。参拝者は、厨子の中の御前立尊像と糸で結ばれたブロンズ像に触ることもできるのだとか。

さらに、本殿の外にいる参拝者にも豊川吒枳尼眞天との縁がつながるようにと、御前立尊像からのびる善の綱で結ばれた3本の御縁柱が境内に建つのだそう。御縁柱に触れることは豊川吒枳尼眞天に触れることと同じで、ご利益を得るとされる。御縁柱には72年前の「御開帳」で使われた木材が再利用され、時代を超えた縁を感じることもできるだろう。「御開帳」期間中には神事も営まれ、11月21日・22日には秋の大祭を開催。豊川吒枳尼眞天の御分祠を乗せた神輿が境内を練り歩き、荘厳で華やかな景色を作り出す。



昭和5年(1930年)春に本殿が竣工し、完成を記念して行われた「落慶大開帳」。

「御開帳」を祝して、華やかににぎわう門前町へ。

01 創業の味を受け継ぐ歴史あるいなり店。

地域の人気店「おきつね本舗」「ヤマサちくわ」「とみかわや」が入る「門前そば 山彦」は、創業100年以上の歴史があり、豊川いなり寿司の発祥ともいわれています。たまり醤油をブレンドしたタレをはじめ、伝統の味を守り続けるいなり寿司が自慢の一品。「御開帳」に合わせて拡大した店舗には、開運甘酒（500円）や、みそおでん（3本500円）も登場します。





左から、白いなりと五目稲荷の「白ミックス稲荷ずし（900円）」、「わさび稲荷（1,000円）」。



モチモチ、ツルツルの自家製手打ちきしめんと、いなり3種類がセットになった「縁福きしめん（1,800円）」。

門前そば 山彦（門前テラス縁福）
豊川市門前町1　☎0533-85-6729
8:30～17:00 ※豊川稲荷「ヨルモウデ」開催日（P4）は20:00まで（売り切れ次第終了）　11/26休

02 世界にひとつだけのオリジナル狐面に挑戦。

狐面の絵付け体験が人気のカフェです。白い面にアクリル絵の具を塗ったりして、オリジナル狐面作りに挑戦できます。店内には狐面作家の店主による作品が展示され、購入も可能。御祈祷済みの面のほか、「御開帳」に合わせた特別商品も登場します。制作に疲れたら、宇治の抹茶（550円）や和スイーツでひとやすみ。体験は、定員に空きがあれば当日の申込みでも可能ですが、予約がおすすめです。



「お狐・抹茶フルセット（1,200円）」。手焼きの狐最中がのったぜんざいは、北海道小豆を使用。セットのバニラアイスと相性抜群です。



「狐面絵付体験 ハーフサイズ（1,400円）」のほか、サイズ違いも用意。所要時間は1時間30分～2時間30分ほどが目安（時間制限なし）。



カフェギャラリーごん　豊川市幸町9
14:00～17:00 ※土・日、祝は10:30～17:00、※豊川稲荷「ヨルモウデ」開催日（P4）は19:00まで（延長の場合あり）　不定休（SNSを確認）
w2kokoro@gmail.com（予約用メールアドレス）
Instagram

03 管理栄養士による、こだわりグルメ。

築140年の建物を改装して昨年6月にオープン。管理栄養士である店主の料理とスイーツが評判の和カフェです。「鳳来牛」の中でも最上級とされる「源氏和牛」や、ブランド米「龍の瞳」が突然変異して生まれた「女神のほほえみ」で作る米糀（こめこうじ）など、食材選びを徹底。味にも栄養にも配慮したメニューが揃います。また、自分で点てる抹茶や、卓上で焼く団子をはじめ、体験型のメニューも好評です。



濃厚でとろりとした口あたりの「福を呼ぶ! 抹茶バスクチーズケーキ（900円）」。



「御開帳」期間のランチメニュー。メイン料理が、鶏の醤油麹焼きか鯛の塩麹焼きから選べ、源氏和牛にぎりや小鉢が付いた「御開帳縁結び御前（2,400円）」。



Cafe & Studio 楽の台所　豊川市門前町25
☎0533-71-0699　11:00～17:00
※豊川稲荷「ヨルモウデ」開催日（P4）は21:00まで（各ラストオーダー）　11/30休
Instagram

04 創作いなり名店の丹精込めた精進料理。

創業90余年、具だくさんの創作いなり寿司が有名な和食の老舗。油揚げは油抜きを徹底してやわらかく仕上げ、寿司酢は米酢、赤酢、黒酢をバランスよく配合。ミネラル豊富なきび糖で甘さをプラスするなど、手間暇を惜しまず作られています。「御開帳」に合わせて考案された精進料理は、地元の野菜を取り入れ、工夫を凝らした品々が並びます。4代目店主は、「御開帳奉賛会」の中心メンバーとして、豊川商店街の活性化にも注力しています。



「御開帳特別精進料理（2,800円）」。三河みりんをはじめとする地元産の調味料が味の決め手。



6種類の創作いなりに赤だしが付いた「藍（1,800円）」。きんぴらやわさびの佃煮など、具材もすべて手作り。



和食処 松屋　豊川市門前町5　☎0533-86-2825
11:00～14:30、17:00～22:00（夜は完全予約制）　11/24・25休

05 「宝珠まんじゅう」は御祈祷を受けた縁起もの。

豊川稲荷の総門前に店を構えて約80年になる土産店。名物「宝珠まんじゅう」は、豊川稲荷の定紋である宝珠をかたどり、豊川稲荷で御祈祷を受けた米を糀にして、あんに練りこんだ縁起のいいお菓子です。季節限定の食べ歩きスイーツもあり、11月には店頭で揚げる「宝珠まんじゅう揚げてみました（300円）」が登場。食品のほか東三河の土産品も並び、参拝・散策の締めくくりに立ち寄りたい一軒です。



2種類の顔のデザインがある、手焼きの「きつねせんべい（4枚650円）」。飴の芯をせんべいで巻いた「商売繁昌虎の巻（4本450円）」。



PRESENT▶P10



国産小麦粉を使用した「宝珠まんじゅう（1個170円）」。定番のこしあんのほか、昨年5月からは白あんも仲間入り。

喜楽
豊川市門前町61　☎0533-86-9044
8:30～17:00（季節やイベントにより変更あり）　無休

イベント情報

11月1日（日）
本宮まつり
■場所／本宮の湯周辺

11月3日（火・祝）～2027年2月27日（土）
美術ミニ企画展2 心象を描く
■場所／豊川市桜ヶ丘ミュージアム

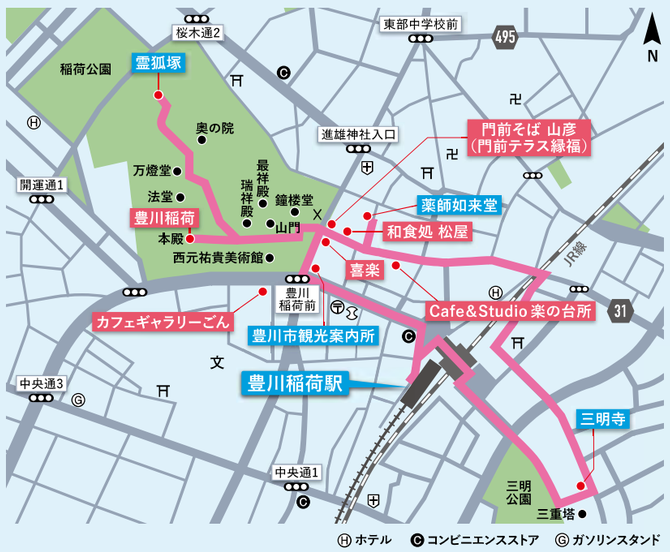
11月22日（日）
ふるさと満喫まつり2026
■場所／東三河ふるさと公園

11月29日（日）
音羽まつり
■場所／JAひまわり音羽支店 駐車場ほか

豊川商店街
御開帳イベント情報

今月の散策コース

豊川稲荷駅 ▶（徒歩約4分）▶ 豊川市観光案内所 ▶（徒歩約3分）▶ 豊川稲荷 ▶（徒歩約6分）▶ 霊狐塚 ▶（徒歩約8分）▶ 薬師如来堂 ▶（徒歩約11分）▶ 三明寺 ▶（徒歩約10分）▶ 豊川稲荷駅



豊川市（とよかわし）

名鉄名古屋駅～豊川稲荷駅へのアクセス
◉名古屋本線国府駅で豊川線に乗り換え 約66分
◉片道運賃：1,270円

人口：181,744人（2026年10月現在）
東三河に位置し、市名の由来にもなった豊川（とよがわ）が流れ、バラや大葉、トマトなどの生産も有名です。「豊川稲荷御開帳」期間中は、砥鹿（とが）神社など市内の神社仏閣で特別拝観や宝物殿公開が行われます。

PRESENT▶P10

名鉄バス TIMES

全国へ広がる
高速バスネットワーク





時刻表 (Time table)

名古屋▶馬籠・妻籠 To MAGOME・TSUMAGO			妻籠・馬籠▶名古屋 To NAGOYA		
名鉄バスセンター(名古屋駅) Meitetsu Bus Center(Nagoya Sta.)	馬籠★ MAGOME	妻籠 TSUMAGO	妻籠 TSUMAGO	馬籠 MAGOME	名鉄バスセンター(名古屋駅) Meitetsu Bus Center(Nagoya Sta.)
9:20 Dep.発	11:10 Arr.着 / 13:05 Dep.発	13:30 Arr.着	15:20 Dep.発	15:45 Dep.発	17:20 Arr.着

※馬籠～妻籠間のみの区間利用はできません。 ※★印のバス停ではバスの停車中、出発時間まで自由に散策していただけます。
※写真・イラストはすべてイメージです。

“ETERNAL NATURE” 永遠の自然を五感で。名古屋城や神社に着想を得た日本オリジナル作品も。「Arte Museum Nagoya」11月18日(水)グランドオープン!!

ソウル発のデジタルデザイン企業「d'strict」が手がける、世界累計1,200万人以上を魅了した没入型ミュージアム「Arte Museum」が日本初上陸! 常滑線新舞子駅から徒歩約3分の場所に誕生。“ETERNAL NATURE(永遠の自然)”をテーマに、映像・音・香りで五感を刺激する全17種類の超大型アートスペースを展開します。日本初の拠点となる「Arte Museum Nagoya」では、名古屋城本丸御殿などの文化遺産や「もののあはれ」といった日本の美意識に着想を得たオリジナル作品が体験可能。デジタルおみくじが楽しめるカフェ「CAFE dara」も併設しています。時空を超えた自然の美しさを、ぜひ現地でご体感ください!

営業情報や
ご予約はこちら



おでかけNEWS

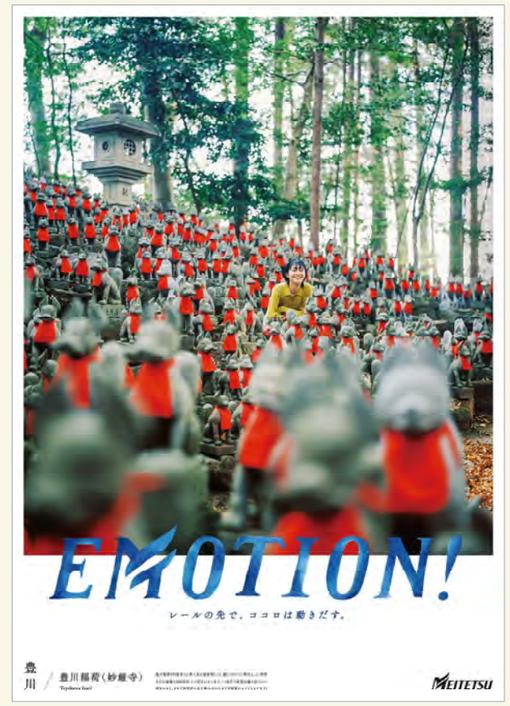
EMOTION! 豊川篇を展開「豊川稲荷御開帳きっぷ」も発売中

■「豊川稲荷御開帳きっぷ」発売・設定期間／
11月1日(日)～11月23日(月・祝)まで

詳しくは
こちら!

きっぷ情報は
こちら!

沿線地域の魅力を発信する取り組み「EMOTION!」の第15弾として、「豊川篇」を展開中です。豊川市は、愛知県の南東部に位置し、「豊川稲荷(豊川閣 妙厳寺)」をはじめ、門前町の名物「豊川いなり寿司」などのご当地グルメや、全国トップクラスの生産量を誇るバラ、歴史・文化・食の魅力があふれるまち。今回の「EMOTION!」では、イメージキャラクターの河村花さんが、狐面の絵付け体験やいなり寿司作りに挑戦。門前町での散策を楽しみつつ、狐の石像が立ち並ぶ「豊川稲荷」を訪れることで、日常から離れて心が整う豊川のまち歩きを満喫する様子を、ポスターやテレビCMで紹介しています。
さらに今年は、「豊川稲荷」で72年ぶりとなる「御開帳」が11月1日より開催されるため、大変な盛り上がりが期待されています。この御開帳に合わせ、おすすめするのが「豊川稲荷御開帳きっぷ」!「名鉄電車全線1DAYフリーきっぷ」に「豊川稲荷各御堂拝観セット(本殿・法堂・万堂・襖絵)」、境内にある「西元祐貴美術館割引券」が付いた3,600円のオトクなきっぷです。72年ぶりに公開される「豊川稲荷」の秘仏とのご縁を結びに、ぜひ豊川へお出かけください。









歩いて巡拝(まいる) 知多四国

詳しくは
こちら!

■開催期間／2027年1月16日(土)まで

歩いて、拝んで、立ち寄って、知多半島をぐるりと楽しむ、お遍路散歩「歩いて巡拝 知多四国(17巡目)」を開催中です。予約不要で参加費は無料、駅を出発点におひとり様でもご参加いただけます。どの回からでも参加でき、初めての方でも無理のない距離で知多四国霊場を巡ることができるため、これまでにのべ50万人以上の方が参加!「信仰・健康・観光」の3つの「コウ」を叶えようと、歩みを進められています。第4回本開催となる11月21日は内海駅をスタート。本尊様が源頼朝の願いを叶えたことから、祈願成就や開運の寺として信仰を集める「野間大坊」など9カ所の寺院を巡り、知多奥田駅のゴールを目指す約10.5kmのコースです。スタート駅で配布の地図と道標に従って、伊勢湾の潮風を感じながら巡拝することができます。なお、本開催に参加できない方のために、全コース本開催の翌日から8日間はスタート駅にコース地図を設置。ご自身の都合に合わせ、ご巡拝ください。また、期間中はスタンプラリーも開催。本開催に参加して3つのスタンプを集めた方には、プレゼントを進呈します。この秋は、風光明媚な知多半島を五感で体感しましょう。

Wind Information

今月のプレゼント

1
P6 掲載



喜楽より
「宝珠まんじゅう 詰合せ
（赤あん、白あん 各4個入り）」を3名様に

2
P6 掲載



豊川市観光協会より
「豊川ゆたかコーヒードリップバッグ
（5袋入り）」を3名様に

3
P10 掲載



博物館 明治村より
「入村招待券」をペア5組様に

※有効期限：2027年3月末

応募方法

名鉄ホームページ、または右記QRコードよりご応募ください。
プレゼントの発送をもって発表にかえさせていただきます。
▶締　切：11月20日（金）

プレゼントへのご応募はこちら

アプリで発信中！

Windの誌面で紹介したお店や施設などの情報を
名鉄公式アプリ「CentX」でも配信します。
ぜひダウンロードして、ご活用ください！

CentX

アプリのダウンロードはこちら

今月の名鉄グループ提供番組

※番組内容・時間が変更となる場合がございます。

［東海テレビ］	［中京テレビ］	［CBCテレビ］	［メ〜テレ］	［ぎふチャン］
月曜9:50 土曜10:23より放送	毎週月〜金曜 あさ5:50より放送	日曜12:54より放送	火曜6:00より放送	水曜21:56より放送
毎日イチバン近くに！	地元の、あなたの、“知っとかなかん”こと盛りだくさん。	1日・8日・15日・29日 ※8日のみ16:00〜16:30放送	この春 節目の25年目に突入とびだせ！ もっと地元に会いに行く。	4日・18日 恵那市 11日 山県市、25日 飛騨市 ※11日・18日・25日は再放送

12月号のPrecious Storiesは　「平湯温泉／平湯バスターミナル」です。12月1日の発刊をお楽しみに！

〈プライバシーポリシーについて〉お客さまの個人情報は、プレゼントの発送及び、個人を特定できない統計データ作成にのみ利用いたします。
また、ご応募いただいた個人情報を第三者へ提供することはございません。
※掲載内容は変更または中止になる場合があります。詳しくは各店舗・施設へお問合せください。最新の情報は公式サイトなどでご確認の上、おでかけください
（すべて2026年10月23日現在のものです）。写真はすべてイメージです。掲載価格はすべて税込価格です。QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

メイジノオト ミニ Meiji-Note

植　物　編

「メイジノオト・ミニ」は、皆さまのココロや暮らしをちょっとだけ豊かにする、「明治村」に関わる情報をお届けするコーナーです。

明治をみつめる。
1をみつける。
メイジノオト Meiji-Note

第56回 時代を超えて愛される紅葉

PRESENT

博物館 明治村

例年11月中旬から見頃を迎える紅葉。歴史的建造物を引き立てるように深く色付き、村内各所を鮮やかな秋色に染めます。明治時代には鉄道の発達とともに郊外への移動が広まり、紅葉の鑑賞を目的とした行楽を楽しむようになりました。明治村ではそんな当時の雰囲気に思いを馳せるような情景が広がります。今も昔も変わらない風情を感じる紅葉狩りに出かけてみませんか。





名鉄沿線MAP



名鉄沿線の紅葉スポット

1. 岐阜公園
2. 寂光院
3. 小牧山
4. 津島神社の大イチョウ
5. 白鳥庭園
6. 徳川園
7. 大高緑地
8. 岩屋堂公園
9. 平戸橋公園
10. 岡崎市東公園

11月の名鉄沿線イベントカレンダー

11/23(月・祝)まで	1名古屋城 秋まつり	■場所／名古屋城 ■瀬戸線東大手駅下車 徒歩約15分
11/1(日)〜30(月)	2第71回 香嵐渓もみじまつり	■場所／足助・香嵐渓広場 ■名古屋本線東岡崎駅または三河線豊田市駅から名鉄バス「香嵐渓」下車
11/7(土)	3第31回 豊橋 炎の祭典 ※要チケット	■場所／豊橋総合スポーツ公園 かもめ広場少年サッカー場 ■名古屋本線豊橋駅からシャトルバス または豊鉄バス「総合スポーツ公園」下車
11/7(土)・8(日)	4岐阜市産業・農業祭 〜ぎふ信長まつり〜	■場所／岐阜市中心市街地一帯 ■名古屋本線名鉄岐阜駅下車
11/7(土)・8(日)	5BISHU FES.	■場所／一宮駅周辺 ■名古屋本線名鉄一宮駅下車
11/21(土)〜11/29(日)	6そぶえイチョウ黄葉まつり	■場所／祐専寺、祖父江ぎんなんパーク ■尾西線山崎駅下車

※上記は10月23日現在のものです。最新の情報は公式サイトなどでご確認の上、おでかけください。